

Labo News

らぼ ニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 松本 祐之
 編集人 堀 隆彦

No.372 目次

- ◆New Year パーティー開催報告……………(2)
- ◆知多地区だより……………(3)
- ◆なごや健康ウェブプロジェクト参加報告…(3)
- ◆海岸清掃ボランティア募集について…(4)
- ◆学術部研究班行事予定
 (平成25年度前期)……………(5)
- ◆地名読み方教室……………(5)
- ◆講演会・研究会……………(6)
- ◆会誌「らぼ」原稿募集……………(7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
 通信(第18回)……………(8)

平成24年度日臨技情勢報告会並びに 全国幹事連絡会議に出席して

中部圏支部 愛知県幹事 相山 広美

平成24年度日臨技情勢報告会並びに全国幹事連絡会議が、1月25・26日日臨技会館において開催されました。従来の代議員会はなくなり、今回は平成24年度事業の執行状況と平成25年度事業計画・予算(会長試案)について、宮島会長より報告並びに説明がありました。一般社団法人となり、事業計画・予算は総会での承認ではなく理事会承認となりました。よって、今回の会議にて会長試案が説明され3月の理事会で協議、承認。4月からの執行となります。

今年度の事業執行について一部紹介します。総務では、ホームページの有効活用、事務局の運営改善を行なったこと。渉外では、IFBLS学会を3年後に日本に誘致したこと。臨床検査推進協議会へ加盟し、副理事長と理事5名が就任、日臨技として主体性を持つことが課題としたこと。チーム医療推進協議会に加入したこと。また、福島県民健康調査事業の状況、国政への対応、平成24年10月には「渉法問題対策委員会」を設置し、業務認証に向けてのグレーゾーンの仕分け作業(業務拡大から業務認証へ)を進めていること等報告がありました。学術では、日臨技と都道府県の連携と役割分担の明確化や、生涯教育の見直し(ステップアップを目指す制度)を行なうこと。他学会との連携等を検討していくこと。平成25・26年度で新生涯教育制度の構築を行い、平成27年度には研修開始を計画していること等説明がありました。

全国幹事連絡会議では、平成25年度事業計画・予算について基本的な考え方として、「次年度事業計画に基づいた予算編成をする」とし、経常的な経費以外のものは基本的に事業として位置づけ、その投資した効果が認められると判断したものを予算計上するという方針が出されました。また、領域別(総務・学術・渉外)の主要事業項目の説明がありました。その中で、次年度は「未来構想策定に関する検討委員会」から答申される内容を具体化するため、新マスタープラン(第4次)の策定も行うとのこと。これら事業計画案は会長試案であり、3月の理事会に向け執行理事を中心に具体的内容が計画されます。そして、理事会承認後、会員に報告されます。

宮島会長の事業計画案の説明後は、全国の幹事から事前に出された質問・要望に対し、各担当理事より回答がありました。

新執行部による事業の運営が始まり、取り組む課題は多いと思いますが、着実に事業を推進、事業運営の見える化を基本に、会員の意見をしっかり受け止め進めていくという方針がよく分かりました。最後に、宮島会長から、平成24年10月から日臨技のブログも開設しているので、是非ご覧くださいとPRもありました。

New Year パーティー開催報告

平成25年1月11日(金) 午後7時より、アサヒスーパードライ名古屋におきまして愛臨技New Year パーティーが開催されました。会員および賛助会員のご協力により会員71名(男55名、女16名)、賛助会員124名(男120名、女4名)で合計195名の参加がありました。病理細胞検査研究班の班長である西尾市民病院の中村広基さんに感想をいただきましたので下記に紹介します。 組織部

New Year パーティーに参加して

本年も恒例の「New Yearパーティー」に参加しました。なかなか機会がなく、久しぶりにお会いする他施設の方、企業の方とも親しく話ができ大変楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。バイキング形式だったのですが、話に夢中で食事をするのを忘れるほどでした。

また、ビンゴ大会では、クジ運悪い私には珍しく8位と健闘して、大きなプレゼントをゲットするこ

西尾市民病院 中村 広基
とができました。嬉しい反面、どうやって持って帰ろうかと一思案。結局、無理やり詰め込みカバンがありえない形になってしまいました。

毎年、企画される技師会役員の方々は準備が大変だと思いますが、このような楽しい機会を設けていただき感謝申し上げます。業務や技師会活動を頑張っていて、充実した一年を過ごし、是非来年も参加させて頂きたく思います。



知多半島には全国的に見ても知名度の高いお祭りがあります。その名は、知多の山車まつり。毎年3月下旬から5月初めにかけて、知多半島は祭り一色となる。尾張は山車祭りの宝庫といわれ、からくりを乗せた山車が数多く見られる地域である。その中でも知多半島には半田市の31台（5年に一度31台が勢揃いする）を筆頭に100余台の山車が現存している。全国にあるからくり人形を乗せた山車は約200台といわれており、知多半島に約半数が集中していることになる。

知多半島の山車は、名古屋型と知多型に大別されるが、美浜町の小野浦には千石船をかたどった船山車がある。また常滑の大谷や坂井、美浜町の上野間のように、若衆組織による祭礼の運営が今なおおこなわれている地域もある。

半田市内では、「けんか祭り」の異名をとる乙川祭りを皮切りに10地区で祭礼が行われ、成岩神社の祭礼では大獅子小獅子の舞が、八幡神社の祭礼では板山獅子舞が奉納される。また「山辺の高山、海辺

の亀崎」と、高山祭りと並び称される亀崎潮干祭りの山車（写真）は、伊勢湾台風以後長らく浜への曳きおろしが途絶えていたが、平成7年から再び亀崎の砂浜に山車が曳きおろされるようになった。半田市立博物館では、各地区の山車が交替で展示されている。

春になりましたら知多の山車祭りの見物にお出かけください。



なごや健康ウエーブプロジェクト参加報告

組織部 所 嘉朗

1月13日(日)、名古屋市が主催する「なごや健康ウエーブプロジェクト」に参加しましたので報告いたします。会場は名古屋市栄のナディアパーク2階アトリウムで、開催時間は午前11時より午後5時まででした。「なごや健康ウエーブプロジェクト」とは名古屋市のプロジェクトで、「がん検診」、「予防接種」、「健康づくり」の3つを柱として予防医療を積極的に推進するものです。健康づくりに関する講演会や乳がん検診も同時に実施されました。今回、愛臨技としては初めての参加で、「健康を知る」コーナーを担当させていただきました。病理細胞検査研究班の協力のもと、子宮頸癌と乳癌の細胞診標本を顕微鏡で見ていただき、がんの怖さやがんは早期に発見すれば完治できる疾患であることを説明しました。疾患の早期発見には検診が大変重要であることを訴えました。わがコーナーに来場された市民は98名で、熱心に顕微鏡を覗かれる方、がんについてかなり詳細な質問をされる方、実際にご自身もがん

を患った方も鏡検されていきました。胃がんや肺がんなどの標本の要望などもいただきました。担当者は臨床検査技師として、また、細胞検査士として対応を心掛けましたが、お話しするときに愛臨技としての資料があると説明しやすいと感じました。今後の研究班の活動に期待したいと思います。

このような活動が、一般市民のがんに対する意識や疾患の理解、さらに検診受診率の向上に少しでも繋がることを期待しています。また、臨床検査技師の知名度向上の一助となれば幸いです。



～組織部からのお知らせ～

海岸清掃ボランティア 募集のお知らせ

新年度早々に海岸清掃ボランティアを下記のとおり企画致しましたのでご参加ください。早春の日差しを浴び、心地よい海風を感じながらゴミ拾いするのも楽しいですよ。

きれいになった砂浜で例年どおり潮干狩りを行います。ご家族を含め同僚、先輩、後輩などお誘い合わせのうえ、多数の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

組織部では公益事業のより一層の充実に向け頑張りますので、会員および賛助会員の皆様のご支援とご協力をお願い致します。



申込方法

別紙の「ボランティア応募 返信ファックス用」に必要事項を記入し愛臨技事務所宛（FAX 052-586-5680）へお願いします。なお、4月5日（金）までにお願いたします。申込の方には、後日案内地図等を送付致します。

（ホームページにも掲載します）

注意事項

- ① 駐車場に限りがあります。お車でお越しの方は乗り合わせの上、ご協力をお願いいたします。満車の場合はお近くの有料駐車場をご利用ください。
- ② 「軍手」および「くまで」などは各自ご持参ください。
- ③ 正会員の方は「会員証」をご持参ください。

問合せ先

所 嘉朗
愛知県がんセンター中央病院 臨床検査部
TEL 052-762-6111（PHS 6121）

記

日 時：平成25年4月14日（日曜日）

午前10時現地集合 小雨決行

* 開催・中止の情報は下記愛臨技ホームページにてご確認願います。当日午前6時ごろには掲載いたします。

<http://www.aichi-amt.or.jp/>

携帯電話用HPアドレス

<http://www.aichi-amt.or.jp/mobile/index.html>

場 所：知多郡美浜町奥田海岸

内 容：海水浴場周辺の清掃活動（終了後、潮干狩りができます）

参加資格：愛臨技会員・賛助会員及びその家族

潮干狩り参加費：1100円（小学生以下 無料）

生涯教育履修点数：基礎教科 20点

学術部研究班行事予定（平成25年度前期）

開催日時		担当研究班等	行事種別	テーマ	開催場所	備考
4月	6日(土) 15:30～	微生物	講演会	前年度学会レビュー・院内感染への貢献	名城病院地下会議室	
	13日(土) 15:00～	病理細胞	研究会	平成24年度愛臨技精度管理調査報告	(株)カーク本社ビル	
5月	11日(土) 15:00～	輸血	研究会	血液製剤の使用にあたって	名古屋市立大学 医学部	
	11日(土) 15:00～	病理細胞	研究会	標本作成	未定	
	11日(土) 15:00～17:00	遺伝子染色体	研究会	シーケンス技術の医療への応用	(株)カーク本社ビル	
6月	6月22日、23日	輸血	合同研修会	輸血業務の基礎	名古屋大学医学部	新人サポート研修会
		生物化学		緊急検査関連の生化学・免疫検査について(仮)		
		生理		心電図検査の基礎		
		一般		尿定性検査と髄液検査の基礎		
		血液		血液検査関連の血液検査について(仮)		
7月	未定	生殖	研究会	生殖医療	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院	
	6日(土) 15:00～17:00	遺伝子染色体	研究会	未定	未定	
	6日(土) 15:30～	微生物	研究会	徹底的に耐性菌～耐性菌検出A to Z～	名城病院地下会議室	
	13日(土) 15:30～	一般	研究会	未定	未定	
	13日(土) 14:00～	病理細胞	研究会	病理検査に関わる診療保険点数の考え方	(株)カーク本社ビル	
	20日(土) 15:00～	生理	講演会	腹部・表在超音波検査	名古屋市立大学 医学部	
	20日(土) 15:00～	血液	研究会	未定	未定	
8月	3日(土) 15:00～	生物化学	研究会	未定	未定	
9月	1日(日) 9:30～16:00	輸血	基礎講座	基礎から学ぶ輸血検査	名古屋市立大学 医学部(予定)	
	7日(土) 15:30～	微生物	研究会	そうとうディープな血液培養～まじで?!～	名城病院地下会議室	
	14日(土) 15:30～	一般	研究会	未定	未定	
	21日(土) 15:00～	血液	研究会	未定	未定	
	21日(土) 15:00～	生理	研究会	脳・神経検査	名古屋市立大学 医学部	

★注意：開催日時・テーマ・開催場所は変更される場合があります。参加の際は、事前にらぼニュースあるいは愛臨技ホームページでご確認下さい。

地名読み方教室

その8

猪高町

いたかちょう

「名古屋市名東区」

猪子石村（いのこいしむら）と高社村（たかやしむら）が合併した名前。

だから“いたか”ではなく“いたか”が正しい。

稲生町

いのうちょう

「名古屋市西区」

愛臨技の人なら読めて当たり前。

泥江町

ひじえちょう

「名古屋市中村区」

名古屋西部には泥地があり、その泥地全体を「泥江」と呼んでいた。

「泥江町」ですが、現在はこの地名はありません。国際センターのふもとにある泥江町交差点の名前は昔の地名の名残です。柳橋中央市場も交差点・名古屋駅寄り五差路斜めにはいったところにあり鮮魚を中心に精肉や青果などの卸売店が約400軒並ぶ市場です。休みは日曜、祝日、水曜不定休（GW期間中休、盆時期休、1月1～4日）一般客は7時以降のほうがよい、年末の買い出しの賑わいでも有名。愛臨技事務所のある花車ビルも近くにあります。

案山子

講演会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年4月6日(土) 15:30～18:00

場所：名城病院地下会議室

テーマ1：学会レビュー

～臨床微生物学会，医学検査学会演題をより詳しく～

演題①：『三次救急病院において血液培養からMRSAが検出された患者についての検討』

講師：名古屋第二赤十字病院 野村 勇介

演題②：『質量分析（VITEK MS）を利用した臨床分離菌株同定 -従来法との比較-』

講師：名古屋第一赤十字病院 服部 拓哉

演題③：『MALDI Biotyperシステムを用いた*Staphylococcus*属の血液培養ボトルからの直接同定検査に関する検討』

講師：愛知医科大学病院 山田 敦子

演題④：『緑膿菌のPCR-Based ORF Typing(POT)法の開発と性能評価』

講師：愛知県衛生研究所 鈴木 匡弘

テーマ2：院内感染対策への貢献

演題：『効果的な院内感染レポート作成について』

講師：刈谷豊田総合病院 蔵前 仁

総合司会：江南厚生病院 舟橋 恵二

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年4月13日(土) 15:00～17:00

場所：(株)カーク本社ビル

テーマ：「平成24年度愛臨技精度管理調査報告」

講師：病理部門の報告

江南厚生病院

住吉 尚之

細胞部門の報告

豊橋市民病院

榊原 沙知

アルシアンブルー染色の検討

名古屋第二赤十字病院

長田 裕之

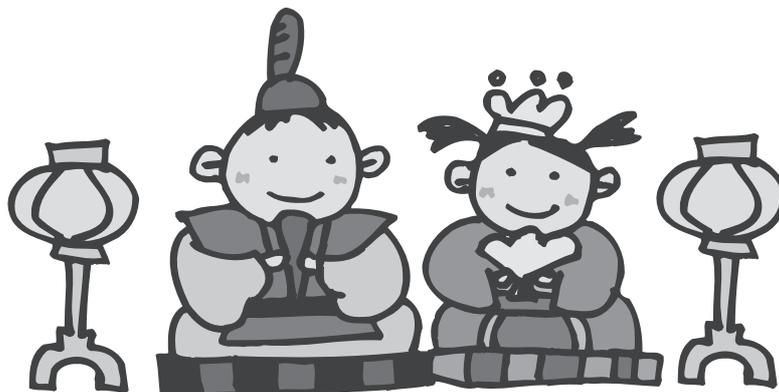
司会：豊田厚生病院

田中 浩一

内容：昨年度行ったアルシアンブルー染色および、細胞フォトサーベイについての精度管理報告を行います。また、アルシアンブルー染色の検討を班員で行いましたので、その結果を報告致します。多数の参加宜しくお願いいたします。

平成25年2月10日現在 正会員数2,706名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



〔公 告〕

会誌「らぼ」原稿募集

平成25年8月に刊行予定している会誌「らぼ」64巻について次の要領で原稿を募集します。

1. 未発表の学術研究論文

- ・投稿規程は(社)日本臨床衛生検査技師会発行の「医学検査」に準ずる。
- ・CDに入力し、CDと印刷したものを提出する。尚CDには施設名、氏名を明記する。

2. 会員業績（出版物・論文発表・学会発表）

- ・平成24年4月1日～平成25年3月31日 までに発表されたもので、筆頭者が愛臨技会員で検査学術関連のものに限る。
- ・学会抄録は論文発表には含めず、学会発表の項に掲げる。
- ・CDに入力し、CDと印刷したものを提出する。尚CDには施設名、連絡者氏名を明記する。

3. 入力手順

- ・ファイルはExcelで作成
- ・体裁は 会誌「らぼ」を参考にしてください。

【論文】 氏名 雑誌名 巻 号 最初の頁～最後の頁 論文題名 共同研究者

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
愛臨技 太郎	検査と技術	30	1	1～10	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

【出版物】 氏名 書名 最初の頁～最後の頁 題名 発行所

氏名	書名	頁	題名	発行所
愛臨技 太郎	Medical Technology	1～10	〇〇における・・・	医試薬出版

【学会・講演会・研修会】 氏名 回数を明記した学会名 開催月日 演題名 共同発表者

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
愛臨技 太郎	第55回日本医学検査学会	5月19日 ～20日	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

封筒に「会誌らぼ 研究論文または会員業績原稿在中」と明記し、愛臨技事務所宛に平成25年4月30日までに送付してください。

原稿募集

会員の皆様の原稿を募集しています。
写真、豆知識、コーヒープレイクなど
ジャンルを問いません。
愛臨技事務所へメールでお送りください。



AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第18回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、前回に引き続き新しく発行された刊行物、リーフレット「尿定性検査 ～尿試験紙検査法の手引き～」についてご紹介いたします。尿定性検査は簡単な検査ですが、さまざまな情報が得られるため最も多くの医療施設で行われている検査です。採尿、保管、検査法、検査の注意点など、とても見やすくまとめられていますので、是非ご利用ください。今回は尿試験紙の取り扱い方について抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会)

II. 尿試験紙の取り扱い方

1. 尿試験紙の使用方法

- ・使用期限を確認し、期限内に使用してください。
- ・開封後はできるだけ早く使い切ってください。
- ・試験紙を切って使用しないでください（誤判定を防ぐため）。



- 1) 尿試験紙を必要枚数取り出したら、直ちにキャップをしっかりと閉めてください。
湿気で劣化しますので、濡れた手で取り出さないでください。



- 2) よく混ぜた尿に試験紙部分を完全に浸し、取り出します。尿に浸す時間は添付文書に従ってください。



- 3) 採尿容器の縁に尿試験紙の側面部分をあてるか、またはティッシュペーパーに試験紙の裏側を軽くあてて、余分な尿を取り除きます。
尿が多すぎると反応が進みすぎて、正しい結果が得られません。



- 4) 試験紙を水平に保持し、決められた判定時間で色の変化を色調表と比較して判定します。